



緑の募金事業候補応募書

令和 3年 1月 15日

公益社団法人 国土緑化推進機構
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等
〒 399-7404
長野県松本市取出442-1
住 所
法人・団体の名称 四賀林研グループ
代表者氏名 山岸 忍
TEL 0263 (64)2056

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

記

1. テーマ (募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載)

(3) 生物多様性の保全と回復への貢献 (SDGs 目標14, 15貢献)

2. 事業名 (簡潔に記載。20字以内)

松本市四賀地区松茸山再生プロジェクト

3. 事業目的 (この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内)

マツクイ虫により枯れ木の山となってしまった松茸山を整備・抵抗性松の植林により、絶滅危惧種である松茸を守り育てる。

4. 事業内容 (募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付)

①松本市四賀地区穴沢温泉の「松茸山荘」に隣接する、荒廃アカマツ林の一部(約3000m²)の枯損木を撤去、地拵え、抵抗性松約1,000本の植樹を行い松茸の発生林であるアカマツ林再生を行う。②撤去した枯損木の一部をチップ化し、松本市波田にある竜島温泉のボイラー燃料として利用する。この「アカマツ枯損木の伐採～チップ化～燃料利用」を中心とした「木質バイオマス利用による松本地域ゼロカーボンへの取組み」と題したシンポジウムを行い木質バイオマス利用によるゼロカーボン推進の重要性を広く周知する。

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

5. 事業場所（位置図を別途添付）

(都道府県・市町村・地番)
長野県松本市穴沢756・松本市波田3452
(所有者)
松本市（市有林・竜島温泉せせらぎの湯）

全体面積	1	ヘクタール
実作業面積	0.3	ヘクタール

6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

松本市四賀地区は古来より松茸の特産地として知られ、中でも穴沢産の松茸は最高品質を誇っている。しかし近年になってマツクイ虫被害が急速に広がり、かつての松茸山は、白骨化した枯損木の山と化している。（添付写真参照）絶滅危惧種となってしまった松茸を守り育てるため、枯損木の撤去と抵抗性松の植林による松茸発生環境整備が急務と考える。

7. 事業実施希望期間

令和3年6月 ～ 令和4年6月

8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
令和3年6月～8月	枯損木の伐採、集積、地拵え（伐採見学・伐採体験・地拵え体験会実施）
令和3年9月	抵抗性松の植樹（植樹体験会実施）
令和3年9月	「木質バイオマス利用による松本地域ゼロカーボンへの取り組み」シンポジウム開催 枯損木のチップ化実演見学会・竜島温泉ウッドチップボイラー見学会実施

9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。必要に応じて参考資料を添付）

1. 松茸が発生すると言われる樹齢10年を超えるまで、四賀林研・市民ボランティアにより、落葉かき等の維持管理作業を継続する。実生の幼樹を移植し、アカマツ林の再生範囲を徐々に拡大する。2. 竜島温泉で稼働しているウッドチップボイラーは、年間約2万リットルの灯油を節約している。同規模のボイラーを地区内で数台稼働させるよう働きかけを継続。

10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入の部	緑の募金交付金	550	
	自己資金		
	その他助成金		
	合計	550	
支出の部	行動費		
	環境整備費	100	チップー使用料100,000円*1回 (枯損木チップ化)
	資材費	200	抵抗性松苗200円*1000本=200,000円
	資材等運搬費	60	4tユニック30,000*2日=60,000 (枯損木運搬)
	指導者経費	100	シンポジウム講師謝金20,000円*5人=100,000
	事務費	90	人件費8,000円*5人シンポジウム会場費:50,000円
	交付金計	550	
	自己資金等計	0	
合計	550		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	昭和60年5月21日
連絡先 電話番号	0263-64-2056
F A X 番号	0263-64-4047
E - m a i l	kabufuji@go.tvm.ne.jp
ホームページ	http://www.go.tvm.ne.jp/~shiga-akamatsu/rinken.htm
会員数	18名
活動目的	森林のもつ多様な魅力と価値を発見し広く発信する事、森林資源の有効活用を図る事を通じて四賀地区の活性化につなげることを目的とする。
主な活動内容	地元の四賀小学校、会田中学校の学有林整備体験・木工教室 木質バイオマス利用ワークショップ 松枯れ対策事業 松茸山整備
主な活動地域	長野県松本市
主な森林整備及び緑化推進活動の実績 (具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付)	H24年度「炭の力で四賀松茸再生」(炭焼き・炭まき体験 講演会) (国土緑化推進機構 緑の募金公募事業) H24. 9. 22~23 松本市穴沢 松茸山荘・周辺市有林 H26緑の募金公募事業「松本市立会田中公開授業～身近なエネルギー源：木質バイオマス～」実施 (H26. 10. 27) H28緑の募金公募事業「松本市立会田中公開授業 枯れ木を生かすぼくらの知恵」(H30. 10. 25学有林内下草刈・薪割体験) H30緑の募金公募事業「会田中公開授業～里山を守る柚人に学ぶ～」H30. 5. 1学有林下草刈・薪割体験

実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標	チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	
5	<input type="checkbox"/>	
6	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	松枯材をチップ化し、ウッドチップボイラーの燃料利用する事により、ゼロカーボンに貢献している事を周知し、更なる木質バイオマス利用促進のための機運を盛り上げる。
8	<input type="checkbox"/>	
9	<input type="checkbox"/>	
10	<input type="checkbox"/>	
11	<input type="checkbox"/>	
12	<input type="checkbox"/>	
13	<input type="checkbox"/>	
14	<input type="checkbox"/>	
15	<input checked="" type="checkbox"/>	マツクイ虫被害で荒廃している松茸山の枯損木を撤去し、抵抗性松を植樹することにより、アカマツ林を再生し、絶滅危惧種の松茸を守り育てる。
16	<input type="checkbox"/>	
17	<input type="checkbox"/>	

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。
詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>

1.松本市穴沢756 松茸山荘隣接アカマツ林



現地写真1-1 マツクイ虫被害による松枯れ状況全景



現地写真1-2 マツクイ虫被害による松枯れ状況近景

過去においては、一シーズンで数十kgの松茸を産出。
(1kg当たり35,000~50,000円で取引される)

枯損木を伐採・撤去し、地拵えを行い、松枯れに強い抵抗性松を植樹する。

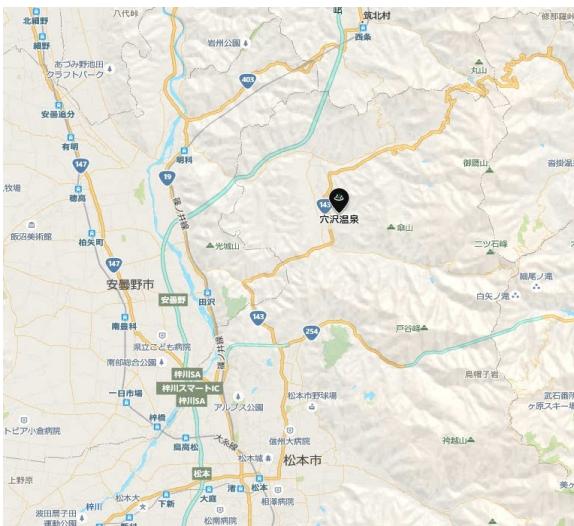


図-1.1 穴沢温泉位置図

2.松本市波田3452 竜島温泉 せせらぎの湯



現地写真2-1 竜島温泉せせらぎの湯 ウッドチップボイラー 燃料コンテ



現地写真2-2 松枯損木をチップ化し燃料利用

松本地域のゼロカーボン社会を目指し、松枯れ材の燃料利用による化石燃料の節約(20,000リットル/年 竜島温泉)事例の発信。
「木質バイオマス利用による松本地域ゼロカーボンへの取組み」シンポジウムを開催し、ゼロカーボン社会への意識啓発を図る。



図-2.1 竜島温泉位置図



枯損木伐採・植林範囲: 3,000m²